
一 般 質 問 通 告 書

第 1 8 8 回浦添市議会定例会
(平成 3 1 年 3 月)

1.	上江洲	徹也	・ ・ ・ ・ ・	1	3月1日
2.	比嘉	克政	・ ・ ・ ・ ・	1	〃
3.	濱崎	早人	・ ・ ・ ・ ・	1	〃
4.	伊礼	研一	・ ・ ・ ・ ・	1	〃
5.	又吉	正信	・ ・ ・ ・ ・	2	〃
6.	亀川	雅裕	・ ・ ・ ・ ・	2	3月4日
7.	下地	秀男	・ ・ ・ ・ ・	2	〃
8.	仲間	烈	・ ・ ・ ・ ・	3	〃
9.	金城	大輔	・ ・ ・ ・ ・	3	〃
10.	護得久	朝文	・ ・ ・ ・ ・	3	〃
11.	仲里	邦彦	・ ・ ・ ・ ・	3	3月5日
12.	松下	美智子	・ ・ ・ ・ ・	4	〃
13.	古波蔵	保尚	・ ・ ・ ・ ・	4	〃
14.	大城	翼	・ ・ ・ ・ ・	5	〃
15.	下地	惠典	・ ・ ・ ・ ・	5	〃
16.	比嘉	武宏	・ ・ ・ ・ ・	5	3月6日
17.	稲嶺	伸作	・ ・ ・ ・ ・	5	〃
18.	當間	左知子	・ ・ ・ ・ ・	6	〃
19.	西銘	健	・ ・ ・ ・ ・	7	〃
20.	田畑	翔吾	・ ・ ・ ・ ・	8	〃
21.	伊礼	悠記	・ ・ ・ ・ ・	11	3月7日
22.	新垣	有太	・ ・ ・ ・ ・	12	〃
23.	真栄城	玄誠	・ ・ ・ ・ ・	15	〃
24.	又吉	謙一	・ ・ ・ ・ ・	15	〃

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
1 上江洲 徹也	1 観光振興の取り組みについて (1) 「てだこウォーク2019」について (2) フットパスの取り組みについて (3) うらそえ感動体験「りっか！浦添」の取り組みについて (4) 浦添伝統芸能紹介の取り組みについて 2 那覇市内観光周遊バスや沖縄市市街地循環バスのような浦添市内観光地循環バスの運行について 3 市民と取り組む総合計画について (1) 第四次浦添市総合計画検証について (2) 第五次浦添市総合計画策定について 4 大平特別支援学校前バス停にある花壇への水栓設置について 5 聴覚障がい者当事者研究の取り組みについて 6 福祉と教育の連携において、「子ども虐待防止オレンジリボン運動」の取り組みについて 7 建築設計委託に関する指名競争入札において、地元優先発注の状況について
2 比 嘉 克 政	1 西海岸開発の進捗状況について伺います。 (1) 今後の沖縄県知事との会談日程について 2 オリオン通りの拡張工事の進捗状況について伺います。 3 浦添市内にパークゴルフ場を建設することについて伺います。
3 濱 崎 早 人	1 (仮称) 発達障がい児関連複合施設に係る機能及び運用見直しについて 2 牧港漁港及び港内施設の整備について 3 幼児教育・保育の無償化について 4 那覇軍港移設について (1) 県知事との会談内容について (2) 今後の展開及び課題について
4 伊 礼 研 一	1 大平保育所、固定遊具について (1) 9月定例会で「今後どのような遊具がいいか検討する」と答弁しているが、その後どのように検討したか、その内容とその結果について伺う。 2 保育所の意見箱の活用とその実績について 3 4月入所の待機児童数と入所待ち児童数について 4 学童クラブへの家賃補助について 5 「新生児訪問」と「はぐはぐていだっ子訪問」について 6 骨髄移植ドナー支援制度について (1) 現在の取り組み状況を伺う。 (2) ドナーの方への支援について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	7 県民投票の結果について見解を伺う。 8 浦添市てだこホール指定管理について (1) 12月5日に監査委員より報告のあった、条例に規定されていない「時間外利用料」という名目で徴収していた件について調査の結果を伺う。 (2) 職員の残業について、労使協定が結ばれていない、残業代を支払っていないなど、労働基準法を遵守できていなかったことについて、具体的な理由と調査の結果を伺う。
5 又 吉 正 信	1 街区公園の安全対策について 2 市道サンパーク通りの拡幅について (1) 県道格上げの考え方について 3 浦添市てだこホールにおける監査結果について (1) 指摘事項に対する措置について
6 亀 川 雅 裕	1 当山小学校分離新設校について (1) 進捗状況について伺う。 2 西海岸開発について (1) 三者会談の内容及び今後の取り組みについて
7 下 地 秀 男	1 S D G s（エスディージーズ）への取り組みについて (1) 2019年度 S D G s（エスディージーズ）未来都市等募集要領について (2) E S D（持続可能な開発のための教育）への取り組みについて (3) 食品ロス削減について 2 ごみ行政について (1) 伊奈武瀬1丁目4番に打ち上げられるごみについて (2) 浦添市空き缶・吸い殻等のポイ捨て防止による環境美化促進条例について 3 （仮称）発達障がい児関連複合施設について 4 キャンプ・キンザー第5ゲート付近の返還される土地の有効活用について 5 臨港道路浦添線のなうら橋付近と浦添北道路の宇地泊 I C 交差点付近の交通事情について 6 体育施設の充実について (1) A N A A R E N A 浦添（浦添市民体育館）の建てかえについて (2) パークゴルフ場の設置で市民の健康増進につなげることにについて (3) サッカー専用競技場を新設することについて 7 幼児教育・保育の無償化について 8 認知症対策について 9 グリーンハイツ線の進捗状況について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
8 仲 間 烈	1 浦添南第一地区土地区画整理事業について 2 学童クラブへの支援について 3 認可保育園の待機児童対策について 4 幼稚園の給食について (1) アレルギー対策について 5 小学校・中学校の不登校対策について 6 前田地域内の配水池の耐震について 7 環境行政について 8 公園の活用方法（パークマネジメント）について 9 東京ヤクルトスワローズの浦添キャンプについて 10 ワカリジー（為朝岩）ヘスポットライトを当てることについて
9 金 城 大 輔	1 海洋ごみへの対策において泉州市と情報交換などの連携をすることについて 2 「うらそえ里浜の保全・活用ガイドライン」の周知の状況について 3 セブニーイレブンの工場の排水対策について 4 海浜公園の早期の駐車場整備について 5 海没地の補償について 6 シリンカーの今後の整備について 7 市道牧港港川線の道路の整備状況について 8 開発行為の権限移譲の取り組みについて 9 網膜色素変性症の方が使用する特殊な眼鏡の日常生活用具への指定について 10 スマート自治体への取り組みとして行政課題の解決や市民とのコミュニケーションにSNSやAIを活用していくことについて 11 骨髄提供者への助成を行うことについて
10 護得久 朝 文	1 神森小学校のプール改築について 2 浦添市のスポーツ振興事業について (1) 施設整備について (2) 各種団体に対する補助金について 3 （仮称）発達障がい児関連複合施設について 4 子ども食堂について 5 認可保育園待機児童解消の取り組みについて 6 自治会会員加入率について 7 西海岸開発について
11 仲 里 邦 彦	1 コミュニティバス運行の実証実験について (1) 実証実験の目的と実施内容について (2) 過去において二度の実証実験を行い本格的導入ができなかった原因

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	2 空き家等対策について (1) 空き家等対策計画について (2) 空き家等の所在と所有者の把握について (3) 空き家等の税制面での対応について 3 屋富祖入り口の交差点改修事業について 4 内間9号線改修工事の進捗状況について 5 市民憲章の普及活動について
12 松下 美智子	1 浦添市としてのテニスコートの建設について (1) 現在の浦添市民テニスコートの使用について (2) 前田公園へのテニスコートの建設について (3) 公式試合の可能なテニスコートの建設について 2 男女平等及び多様性を尊重し人権を守る社会を推進するための条例制定に向けた取り組みについて伺います。 (1) 条例制定が遅れた理由について (2) 条例制定時期について (3) そのタイムスケジュールについて 3 災害時の活用に有効な乳児用液体ミルクの本市への導入について伺います。 4 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について (1) 厚生労働省は、今年3月末までの70歳以上5歳刻みの年齢を対象に公費助成を実施する経過措置を5年間延長することを決定した。本市の対応について伺います。 5 水難救済のための「青い羽根募金」運動について (1) 本市の取り組みについて (2) 周知活動について 6 コンビニでの各種証明書の交付について (1) その後の取り組みについて (2) 実施時期について
13 古波蔵 保 尚	1 市長の政治姿勢について (1) 選挙公約に対する市長の考えを伺う。 (2) 公約を破り退職金を受け取る考えかを伺う。 (3) 市長専用車について伺う。 (4) てだこ浦西駅周辺計画の進捗状況を伺う。 (5) スポーツアリーナ建設の進捗状況を伺う。 (6) 市長は、西海岸開発を本気で推進する考えであるかを伺う。 (7) 浦添南第一、南第二地区土地区画整理事業の進捗状況を伺う。 (8) 浦添市上空を飛行する危険なオスプレイ及び米軍機の危険性についての見解を伺う。 (9) ANA SPORTS PARK 浦添等への除草剤散布の責任について伺う。 (10) 「てだこウォーク2019」の課題について伺う。 (11) 地元企業優先発注に対する考えについて伺う。

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	2 福祉・教育行政について (1) 公共スポーツ施設を児童生徒へ無料化する考えがないかを伺う。 (2) 保育施設の安全性について伺う。 (3) 教育長の浦添市の教育や発展に対する考えを伺う。 (4) 中央公民館 1 階の老人センターのクーラー利用延長料金について伺う。 3 市内公園の管理と整備について伺う。 4 市内道路の滑りどめや舗装について伺う。
14 大 城 翼	1 平成31年度施政方針について (1) 那覇港湾計画の改訂について (2) てだこ浦西駅周辺地区におけるスマートシティについて (3) 新・放課後子ども総合プランについて (4) 屋外広告物条例の制定について (5) まちづくりに寄与する人材育成について 2 てだこ浦西駅周辺地区土地区画整理事業の進捗状況について 3 皇位継承に伴う10連休の保育所、学童の対応について 4 市役所駐車場を拡充することについて 5 浦添市公共ファシリティマネジメント施策に関する取り組みについて 6 ANA SPORTS PARK 浦添の施設整備について
15 下 地 恵 典	1 西海岸開発について (1) 3 者会談のこれまでの経緯と今後について (2) 膠着した西海岸開発の現状を打破し、妥協しながらも着地点を見つけにいくことについて 2 屋富祖地域のまちづくりについて (1) 課題について (2) 公園計画の可能性について
16 比 嘉 武 宏	1 北方領土返還運動全国強調月間の取り組みについて 2 港川小学校用地における城間 4 丁目3110番の件について 3 浦城小学校渡り廊下について 4 てだこ浦西駅周辺まちづくり開発について 5 カーミージー周辺拠点施設の進捗状況について
17 稲 嶺 伸 作	1 児童虐待の対策について (1) 直近 3 年間の児童虐待の疑いがある18歳未満の子供の数と推移を伺う。 (2) 状況把握と防止対策を伺う。 2 教育行政について (1) 「置き勉」の取り組みを伺う。 (2) 小中学校体育館の空調機設置について、総務省所管の「緊急防災・減災事業債」が活用できないか伺う。 (3) E S D（持続可能な開発のための教育）の取り組みを伺う。

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	3 TNRの取り組みについて (1) 市役所1階ロビーで開催された「さくらねこTNRパネル展」の検証結果を伺う。 (2) 浦添市の行政枠、市民枠のTNRチケットの活用状況について 4 期日前投票所の設置について (1) 去る県民投票において初めて大型商業施設内に期日前投票所を設置したが、実施後の検証結果を伺う。 (2) 今夏、予定される参院選におけるサンエー浦添西海岸P A R C O C I T Y内の期日前投票所の設置の進捗状況を伺う。 5 浦添市の物産について (1) 夏に開業するサンエー浦添西海岸P A R C O C I T Y内に市産品と情報を発信するアンテナショップの設置について進捗を伺う。 6 市ホームページのリニューアルについて (1) 観光と物産、産業、歴史と文化など浦添市の魅力と未来をアピールするトップ画面の制作について (2) 見やすく効果的な防災の情報 7 災害備蓄品に乳児用液体ミルクを導入することについて 8 廃棄物処理について (1) 今年、開業予定の大型商業施設やコンビニの商品製造工場と店舗開店により、商品廃棄の増加が予測されるが対策を伺う。 (2) 新クリーンセンターの制度設計に、商品廃棄物を活用した循環型処理施設の検討ができないか。
18 當 間 左知子	1 浦添市の職員についてお伺いします。 (1) 平成30年度の職員の人数について (2) 男女比について (3) 年齢区分について (4) 平成30年度の退職者数について (5) 平成31年度の採用者数について 2 教育行政についてお伺いします。 (1) 保育要録、こども要録の取り扱いについて (2) 預かり保育の保育士数について 3 保育行政についてお伺いします。 (1) 浦添市子ども・子育て支援事業計画について ①子ども子育て会議（浦添市子ども・子育て支援協議会）について ②浦添市子ども・子育てに関するニーズ調査について (2) 小規模保育事業所について (3) 認定こども園について (4) 企業主導型保育所について (5) 子育て支援センターについて (6) 平成31年度保育所入所手続の進捗状況について (7) 認可保育所主食費について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
19 西 銘 健	1 「4月に保育園に入れないと通知がきた。本当に困る、助けて」市民から悲痛な訴えがあります。希望するどの子ども保育所に入所できるよう保育所を増設し、保育士の処遇を抜本的に改善することについて (1) 2019年度4月入所希望申込者数及び受け入れ可能数 (2) 入所待ち児童数の過去4年間の推移 (3) 小規模保育園を3月卒園予定で、次の保育所を希望しても入所が決まっていない子どもがいるか。 (4) 希望する全ての子どもが入所することができるよう保育所を増設すること (5) 市内保育所で何人の保育士が不足しているか。また保育士が不足していることによって受け入れることのできない子どもは何人いるか。 (6) 保育士支援を拡充すること (7) 認可外保育園への支援を拡充することについて 2 子どもたちの放課後の安全と健やかな成長を保障するために学童クラブ支援を拡充することについて (1) 次期浦添市子ども・子育て支援事業計画策定の進捗と今後のスケジュールについて伺う。 (2) 次年度、学童クラブ利用を希望して、入所ができない児童は何人の見込みか。 (3) 今年度の学童クラブ分離新設の予定数と実績 (4) 分離新設を促進する移転関連費用及び家賃全額補助を実施すること (5) 公的施設入居を早急に進めること (6) 低所得世帯が学童クラブを利用したくても保育料が高額なため利用できない実態があります。低所得世帯の保育料を補助すること (7) キャリアアップ処遇改善事業等で支援員の処遇を改善すること 3 神森小学校のプールの建てかえと学童クラブの建設を急ぐことについて 4 学校や通学路、公共施設の危険なブロック塀を改修するなど早急に安全対策を行うことについて (1) 安全対策の進捗を伺う。 (2) 学校に面している民有地や通学路などの危険なブロック塀についても早急に安全対策を行うべきであるが、見解を伺う。 5 老朽化したANA ARENA 浦添（浦添市民体育館）の雨漏り対策と建てかえをすることについて 6 幼児教育を拡充することについて (1) 次年度に向けて、臨時職員募集に対する応募状況はどうなっているか。 (2) 専門資格者が教育を行うべきだが、臨時職員の無資格者の割合を伺う。 (3) 臨時職員の賃金を引き上げるなど処遇を改善すること

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	(4) 次年度、本務職員の採用試験を行うこと (5) 3年保育実施の進捗を伺う。 (6) 給食の実施について部長は12月議会で、宮城幼稚園、沢峠幼稚園についても早期に実施ができるよう取り組むと答弁しています。進捗を伺う。 7 子どものインフルエンザワクチン接種を助成することについて (1) 今年度、何人の子どもがインフルエンザに罹患したか。 (2) 子どものインフルエンザワクチン接種を無償化した場合いくらの財源が必要か。 8 (仮称) 発達障がい児関連複合施設について (1) これまでの経緯及び今後のスケジュールを伺う。 (2) 当事者の意見を反映させた施設にすることについて 9 「何年も市営住宅に申し込んでいるけど、全然入れない。市営住宅に入れるようにしてほしい」との市民の声があります。市営住宅を増設することについて (1) 入居申し込み者数及び入居者数の過去3年間の推移 (2) 市営住宅戸数の他市との比較について (3) 市営住宅を増設すること (4) 空き家を活用することや民間アパート入居者で低所得世帯への補助を実施することについて 10 安い運賃のコミュニティバスを導入することについて 11 水道料金を引き下げることにについて 12 昼も夜も浦添市の上空を米軍機が飛行し市民を苦しみ、命と安全を脅かしています。人権無視の傍若無人な米軍の振る舞いは許せません。 (1) 米軍機の爆音はどのような状況か。 (2) オスプレイの低周波や戦闘機の爆音が人体に与える影響を伺う。 (3) 浦添市上空で米軍機を飛行させないための具体的な方策を伺う。 13 自然破壊で税金の無駄遣いの西海岸の埋め立てと、市民の命と安全を脅かす軍港の建設をやめて、キャンプ・キンザーを返還させて平和で経済的に自立した浦添市を実現することについて
20 田 畑 翔 吾	1 学生の4割が利用している日本学生支援機構の貸与型奨学金について、文部科学省は、保証人制度をなくし機関保証への一本化を視野に見直しを始めました。機関保証は、毎月振り込まれる奨学金の額に応じて、1.5%から6%の保証料を天引きします。学費や生活費のための奨学金から保証料の天引きが行われることで、足りない分を補うためにアルバイトを余儀なくされている学生がふえています。政府は延滞を問題視し機関保証を提言していますが、同機構の調査では、延滞が続く理由の7割は「本人の低所得」です。国や行政は、奨学金という名の借金から派生する負の連鎖を断ち切るべきです。返済のいらぬ給付型奨学金を早期に実現することについて

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	(1) 機関保証制度について (2) 前回議会において部長は、「今年度新たに給付型奨学金の財源が確保できそうですが、制度の拡充にはやはり継続的な財源の確保が必要となります。次年度に向け安定的な運用と必要な制度の拡充について取り組んでいる」との答弁がありました。進捗について 2 2017年度に病気休職した県内公立学校の教員は424人で、在職者全体に占める割合は2.8%となり、全国平均の3倍を超え、2007年度から11年連続で全国ワーストとなっていることが地元紙で報じられました。精神疾患による病休発生率も全国ワーストとなっています。厚生労働省が2018年10月30日に発表した「過労死等防止対策白書」によると、教職員の80.7%が業務に関連するストレスや悩みを抱えており、理由のトップは「長時間勤務の多さ」であると回答しました。また、学校における過重勤務防止に向けて必要だと感じる取り組みについては、「教員（専科教員を含む）の増」が78.5%と最も多いものの、中央教育審議会が行った公立学校教職員の「働き方改革」についての答申は、長時間労働の解消に必要な教職員増がなく不十分な内容に終わりました。現場の切実な声に応ようとする政府の本気度が伝わってきません。教職員の健康を守ることは、子どもたちを守ることにもつながります。長時間労働は命に関わる重大な問題である以上、行政として早急に取り組むべきです。教員の多忙化をなくすことについて (1) 直近3カ月間における、過労死ライン月80時間を超える残業を行っている教職員の割合について (2) 直近3カ月間における、健康障害リスクを伴う月45時間を超える残業を行っている教職員の割合について (3) 直近3カ月間における、公立小中学校教職員の最長の勤務時間について (4) 策定中の学校業務改善計画の進捗状況について (5) 学校教育支援員の配置人数を減らした小学校について (6) 本市公立小中学校における正規・非正規職員の割合について (7) 本市における、病気・精神疾患による病休職員数について 3 中学卒業まで所得制限なくこども医療費の窓口完全無料化を実現することについて (1) 重度心身障がい者・児及びひとり親家庭の子どもにおいても小学校入学前まで現物給付にすることについて 4 大人の風疹ワクチンの接種費用の助成を行うことについて 5 2020年4月、地方自治体で働く臨時・非常勤職員が「会計年度任用職員制度」に移行します。国は「臨時・非常勤職員の待遇改善」「非正規にも一時金」とプラスの面を強調していますが、総務省は制度導入に当たって、地方自治体への財源手当を明確に示していません。今後は、会計年度に限った1年区切りの任用が法定化さ

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	れることから、職員の労働条件がどのように変化するのか不透明です。日々、市民サービスに携わっている全ての職員が安心して働ける環境を整備するのは本市の重要な責務です。 (1) 進捗及び今後のスケジュールについて (2) 本市における正規・非正規職員の割合について (3) 定時を過ぎても業務に従事している職員が多数見受けられるが、労基法にのっとりた残業代の支払いがなされているかについて (4) 本市が独自に、非正規職員に対し無期転換ルールを採用することについて (5) 現状より正規・非正規全ての職員の賃金・労働条件の切り下げを行わないことについて 6 浦添市社会福祉協議会は、地域支え合い体制の構築を初めとする共生社会の実現に向け、その中核的な役割を担っています。しかし、財政面での厳しさから毎年基金の取り崩しが行われ、前回議会において、平成30年5月28日時点で福祉基金の残高が約938万円、施設整備等積立金が約2,660万円であることが明らかとなりました。さらに、昨年に引き続き事業の見直し・縮小も行われています。今後、ますます重要な役割を担う本市社協の存続が見通せない状況となっていることに対して浦添市の積極的な関与が求められています。 (1) 社会福祉協議会補助金等財政支援について (2) 社会福祉協議会運営補助金交付要綱の制定について (3) コミュニティソーシャルワーカーの正規化について (4) 職員の雇用確保のために人件費補助を行うことについて (5) 地域福祉計画の中身について 7 建設技能者の人材確保や育成、現場作業員の福祉の向上のため、中小企業退職金共済法に基づき国が作った退職金制度、建退共があります。同制度は、雇用している労働者に対して働いた日数分の証紙を共済手帳に張ることによって退職金の掛け金が加算されていき、その労働者が退職金を請求した際に建退共事業本部から退職金が支給されるという、建設業の就労実態に合わせた退職金制度です。しかし、共済手帳を持っていない、あるいは制度そのものを知らない現場作業員や、発注者による指導が十分に行われない公共工事において、下請けが「建退共証紙の辞退届」を提出して共済契約者である下請けに証紙が交付されないケースが発生していることが、独立行政法人勤労者退職金共済機構の報告書で指摘されています。本市の建退共制度について (1) 本市における建退共制度の周知方法について (2) 本市発注の事業を受注した事業者の建退共への加入・証紙購入の確認方法について (3) 共済手帳への証紙張り付けが履行されているか否かの確認方法

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	について 8 昨年9月30日に行われた県知事選挙において、県民は、辺野古新基地建設反対を掲げる玉城デニー新知事を39万票以上の過去最多得票で誕生させました。しかし政府は、同年12月14日、圧倒的な反対の民意に寄り添うことなく土砂の投入を強行しました。安倍首相は今年に入って初めて、埋め立て海域に存在するマヨネーズ状の軟弱地盤の改良工事のため、設計変更を県知事に申請する必要があることを認めました。政府が軟弱地盤の存在を知っていたのは3年前の2016年3月、護岸工事に着手する前です。その他にも、地盤改良のために海に打ち込む砂杭の数が、作業船の入れない浅瀬を含め約7万7,000本になること、大浦湾の護岸予定地付近では最新の調査で水面下90メートルにも及ぶこと、水深90メートルに達する大規模な地盤改良工事は世界的にも例がないこと、対応できる作業船が国内にはないことなど、政府が強引に推し進める工事の行き詰まりは明らかです。辺野古新基地建設は民意に従い断念すべきであり、私たちが納めた税金は教育や福祉にこそ使うべきです。 (1) 政府に対し辺野古新基地建設の断念を求めることについて (2) この間明らかになった事実に対する市長の見解について (3) 政府が米軍普天間基地の5年以内の運用停止の約束をほごにしたことに対する市長の見解について (4) 県民投票の結果に対する市長の見解について
21 伊 礼 悠 記	1 千葉県野田市で犠牲になった小学4年生の女儿は、父親の暴力を訴えるSOSを発信していたにも関わらず命を奪われました。多くの子どもたちが虐待被害に遭い、小さな命が奪われている現実はいまにも深刻です。悲劇を断ち切るため抜本的対策を講じることが急務となっています。 (1) 乳幼児健診未受診や、未就園、不就学等で福祉サービス等を利用していないなど関係機関が安全を確認できていない子どもについて (2) 職員体制及び専門員の配置などで支援体制を強化すること (3) 産後検診を実施するなど、妊娠婦支援を強化・拡充すること (4) 産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業を実現すること (5) 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の設置について 2 高すぎる国民健康保険税の引き下げなどで負担を軽減し、市民の命と健康を守ることにについて (1) 国民健康保険税の引き下げと減額免除制度を拡充すること (2) 子どもが多くなるほど高くなる均等割や、世帯ごとにかかる平等割の廃止または軽減を実現すること (3) 階層別の世帯数とそのうち生活保護基準以下の世帯数について (4) 滞納件数と差し押さえ件数の推移について (5) 滞納理由など国保世帯の生活実態について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	3 必要な介護が保障され、安心して利用できる介護保険制度を実現することについて (1) 介護保険料を引き下げること (2) 介護保険料と利用料について実態に即した減額免除制度を実現すること (3) 滞納者数と差し押さえ件数の推移について (4) 滞納理由など高齢者の生活実態について 4 浦添市てだこホールの指定管理者による利用料金の過徴収や、賃金未払い等の労働基準法違反などが指摘された問題について具体的な説明を求めます。 5 当山小学校の過大規模問題について (1) 分離新設に向けた学校適正規模等審議会の答申内容と、早期実現に向けた今後の取り組みについて (2) 分離新設が実現するまで教員や教育支援員、ヘルパーなどの増員を行うなど過大規模によって生じる問題に対し、対策を取るべきです。 6 子どもの権利委員会は日本についてこれまで3回審査を実施し、3回の所見ではいずれも日本の子どもたちが「高度に競争的な学校環境」のもとにおかれ、発達をゆがめられ、不登校、中退、自殺など否定的な影響を与えている点を問題にしています。児童生徒の不登校対策を拡充することについて (1) 市内小中学校における不登校の児童生徒の実態について (2) 専門職の配置強化及び正規で採用するなど支援体制を強化すること (3) これまでの取り組みと今後の施策、新たな課題について 7 浦添市の報告漏れにより、前田地区の一部の下水道使用料が那覇市に対して長年にわたり未納となっていた問題について具体的な説明を求めます。 8 中小零細業者の実態調査を行い実態に応じた支援策を進めることについて
22 新 垣 有 太	1 子供の貧困（孤立）対策等について伺う。 (1) 本市における子供の貧困率について伺う。 (2) 浦添市では、県が「沖縄県子どもの貧困対策計画」で示している「子どもの貧困に関する指標及び目標値」をもとに浦添市でも対策を行っているが、浦添市独自の指標（数値等）も公表するとともに目標値を設定する必要がある。市の見解を伺う。 (3) 沖縄県が、子どもの貧困対策計画の改定に向けて、有識者を交えてこれまでの対策の中間評価を行った。本市においても、これまで実施してきた事業に対して中間評価を行う必要があるのではないか。市の見解を伺う。 (4) これまでの浦添市における子供の貧困に関する指標公表や、目標値を設定、そして、これまでの子供の貧困対策の事業の中間

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	評価を実施したうえで、浦添市でも独自の計画策定を行う必要があるのではないかと伺う。 (5) 社会福祉協議会の事業のひとつにCSW（コミュニティソーシャルワーカー）配置事業がある。次年度以降、CSWが1人解雇される予定だと聞いている。子供の貧困（孤立）対策に重要な役割であるCSWは、現在の配置数よりももっとふやすべきだという有識者の意見がある中、1人解雇されることは事実か。また、配置数をもっとふやすべきではないか。市の見解を伺う。 (6) SSW（スクールソーシャルワーカー）の現在の配置状況を伺う。また、子供の貧困対策に関する有識者からは、「SSWなどの問題解決のための支援員のさらなる配置が必要だ」という意見が出ている。浦添市においても配置をふやすべきではないか。市の見解を伺う。 (7) 沖縄県が、子どもの貧困対策計画改定に向けて2019年2月8日に有識者会議を開催し、その中で虫歯予防に効果的なフッ化物を応用するなどの効果的な予防対策などが計画に盛り込まれる予定である。本市におけるフッ化物応用の導入に向けた進捗状況を伺う。 (8) 教育現場と福祉担当部署の連携について進捗状況を伺う。また、教育と福祉の連携がなかなか進まない原因は何だと考えているか市の見解を伺う。 2 本市における児童虐待防止の取り組み等について伺う。 (1) 児童相談所における本市児童虐待相談件数及び対応件数を伺う。また、相談経路別の内訳件数を伺う。 (2) 虐待が疑われる事案が発生した場合の本市における基本的な対応方法について伺う。 (3) 教育現場において過去に虐待が疑われる事案が発生及び対応したケースがあるか。また、その際の対応もしくは発生した場合の基本的な対応について伺う。 (4) 児童虐待防止のための学校と福祉担当部署の連携はどのように行われているか伺う。 3 保育園における待機児童数、入所待ち児童数の現状と2019年度の対策（計画）等について伺う。 4 学童クラブに対する新たな支援等について伺う。 (1) 新年度における待機児童解消対策の具体的な方針・計画等について伺う。 (2) 家賃補助について2019年度は、現在月額5万円の補助額を引き上げるのか伺う。 (3) 保護者会運営から保護者の負担軽減のための法人化の進捗状況について伺う。 (4) 一部の学童クラブにおいて、現在の保護者会運営から法人化することに難色を示している学童があると聞いている。その理由

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	は何か伺う。 5 本市における地方自治体の財政の弾力性を示す指標である経常収支比率について伺う。また、対前年比の増減理由について伺う。 6 平成31年度（2019年度）一般会計予算案の中で歳入の地方交付税及び地方特例交付金が対前年度比約17億3000万円（率にして35%）も減少している理由を伺う。また、歳出の諸支出金として県へのたばこ税交付金が約6億8700万円計上されている理由について伺う。 7 地元企業優先発注について (1) 空調や照明のLED化によってCO₂及びコストを削減する事業（浦添市複数施設一括省CO₂改修事業、10年単位）を公募型プロポーザルにより県外企業が受注したことについて、受注できなかった県内企業と受注した県外企業の評価の差について、具体的に伺う。 (2) 市が発行する印刷物等、例えば「広報うらそえ」について、入札の評価・選定基準を伺う。 8 沖縄県人事委員会が、職員の働き方改革と勤務環境の整備、能力及び実績に基づく人事管理の推進を図るよう勧告している。例えば、フレックスタイム（時差出勤）の導入や人事評価制度の改革等について、本市における対策の進捗状況を伺う。 9 除草剤散布問題発生後の指定管理者の管理体制強化に向けての進捗状況等について伺う。 10 2月12日に軍転協で在沖アメリカ総領事及びアメリカ軍の四軍を統括する沖縄調整事務所と会談した内容について伺う。 11 てだこ浦西駅周辺まちづくりについて (1) アリーナ建設を計画していたエリアにホテルや商業エリアなどが融合した複合施設を誘致することについて、その経緯を伺う。 (2) てだこ浦西駅及びパーク＆ライド駐車場に併設して建設を予定している大規模複合型商業施設について、交渉の進捗状況を伺う。 (3) てだこ浦西駅周辺開発地区におけるスマートシティ開発におけるエネルギー供給事業及びエネルギーマネジメント事業の進捗状況を伺う。 12 県がモノレールの3両編成を計画していることについて、その際に想定される浦添市の出資額を伺う。 13 当山小学校過大規模解消対策の進捗状況を伺う。 14 本市職員数について、2018年（平成30年）4月現在、職員数は803人（出向者も含めると806人）となっている。浦添市職員定数条例で定めている定数の上限は815人としているが、なぜ上限数の815人を確保しないのか等を伺う。 15 2020年度から市の非常勤職員666人（2019年1月現在）が、会計年度任用職員制度へ移行するが、新制度設計の進捗状況と想定される予算規模等について伺う。

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
23 真栄城 玄 誠	1 てだこ浦西駅周辺のまちづくりについて 2 浦添城跡の世界遺産登録について 3 浦添市内の商業等に関する通り会等の概要について (1) 通り会の名称及び区間について (2) 内間パイプライン通りに新たに通り会を設置することについて 4 職員分限懲戒審査委員会に弁護士等の学識経験者を入れることについて 5 ANA SPORTS PARK 浦添（浦添運動公園）の指定管理に関する監査について 6 再任用職員の継続任用について
24 又 吉 謙 一	1 オキナワ・バージョン浦添音楽祭について 2 本市の窓口業務において、ロボットを活用することについて 3 西海岸開発について
	以 上